

くほっかいどう企業の森づくりのトップランナーを目指して

JTの森積丹『森づくりの日』森林保全活動

3年ぶりの森林保全活動を実施!

3年ぶりの森林活動を実施

5月28日、日本たばこ産業株式会社（「JT」）と協働する森林保全活動が催され、彦野大輔JT北海道支社長やJT社員、JTとの関連企業など64人が参加しました。

コロナ防止のため、令和元年6月以来3年ぶりとなった今回の森林保全活動は、余別川流域エリアを会場に行われました。

後志総合振興局森林室普及課職員の指導のもと、森林の状況を調べる樹木の太さや高さを測る『測樹』を体験しました。

普段の生活の中では体験できない林業に触れた参加者は、真剣に取り組む、汗を流しました。

午後からは、春の植物や野鳥を観察する『いきものつながりアドベンチャー』が行われ、森と親しむ楽しい時間を過ごしました。

平成23年度から始まったJTの



▲測樹体験

森森林保全活動は、12年目を迎え、資源の重要性が見直される中、多くの企業からも森林を守るJTの森活動が注目されています。

今後もJTと国・道の関係機関、町民の皆様との協力で、くほっかいどう企業の森づくりのトップランナーにふさわしい『海を育む水源の森に』を目指す取り組みを進めていきます。

美国漁港利用協議会が『清掃活動』

くいつも美しい漁港に

6月12日、美国漁港のプレジャーボート利用者が構成する美国漁港利用協議会（会長：八戸良二）が清掃活動を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの実施となった活動は、きれいな漁港で観光客を迎えるため、

観光シーズンが本格化する前に実施しています。

当日は会員と町職員が協力、約20人の参加者が集まり、約1時間をかけ、40リットルゴミ袋約40個分を収集しました。

八戸会長は「漁港をきれいに保つために、漁港を利用する方一人ひとりがルールとマナーを守って楽しんでほしいです。今後も積極的に清掃活動を実施していきます。」と話していました。



▲当日収集したゴミの様子

全道女子チームに選抜、主将として全国大会へ!



すずき みやの 鈴木 雅乃さん (美国中3年)

中学生の硬式野球チーム「余市リトルシニア」所属の鈴木雅乃さん(美国中3年)が、全道的女子選手の中から選抜・構成されるチーム「北海道ガールズ」に見事選抜され、7月24日から27日の間に長野県松本市で開催される全国大会「第5回 ガールズ チャンピオンシップ Girls Championship」に出場します。

余市リトルシニアで主将を務める鈴木さんは選抜チーム「北海道ガールズ」でも主将に選ばれ、「普段プレーしたことのない選手達をまとめるのは、大変だと思うけど、頑張ります。

今まで育ててくれた両親や指導者、チームメイトに感謝し、日頃の練習の成果を発揮したいです。」と意気込みを語ってくれました。

父の良治さんは「自宅で自主練習に励む姿は父としても認めている。精一杯頑張ってきてほしい。」と我が子の活躍を期待していました。



地域おこし協力隊 レポート

Vol.1

4月1日付けで9名の『地域おこし協力隊』が委嘱され、町内の団体や事業所で活躍しています。各隊員の活動内容や今後の目標などを広報しゃこたんで連載します。

今月の地域おこし協力隊

つがね すくろ
津金 卓さん

【積丹町生産活動センター所属】



積丹町の皆様こんにちは。積丹町生産活動センター所属の「地域おこし協力隊」津金 卓(長野県出身)と申します。

初夏の暑気を感じる日々ですが、いかがお過ごしでしょうか?

この度、「地域おこし協力隊」が、広報しゃこたんを活用して、私たちの活動内容や今後の計画や目標を、町民の皆様にご報告する機会を頂きました。

この機会を大切にしながら、「地域おこし協力隊」として、町民の皆様と共に積丹町をより良いまちにするために、日々活動させて頂いています。

私は、「高齢者生産活動支援員」という分野で、草刈り業務や冬場は除雪作業を行っています。作業中に皆様から温かいお言葉をかけていただき、大変励みになっています。また、食品生



産加工でも、町民の皆様から長く愛されている「ホッケの切込み」や「鮭の飯寿司」等の食品加工に携わっています。

町民と密着した活動は、積丹町民であることの自覚の芽生えと、町の長い歴史の中で、先輩方が伝えてきた素晴らしいものを絶やしてはいけないという責任感が生まれました。

そして、私をあたたく迎え入れていただいた皆様への感謝の気持ちを込めて自身の目標を「積丹町の縁の下の力持ちになる」ことと決めました。

いつも笑顔と元気で、最初から最後まで諦めずにやっています。

どんなことでもお役に立てそうなお声掛けがありましたら、いつでもお声掛けください!